

## 第22巻 不正打ちの動画

IPGAルールの第24条には、プレイヤーは、ボールをクラブヘッドで正しく打たなければならないと、「押し出し」、「かき寄せ」、「引き出し」または「すくい上げ」では、ならない。

また、「1ストローク中に2回以上、ボールに当たった場合、ペナルティを付加する」とあります。

平成21年より、植栽等に入り、キチンとアドレスが取れなくビリヤード打ちをした場合、不正打ちとなりました。

右打ちの人が左手だけでクラブを持ち右手でシャフトを叩く打ち方があります。

不正打ちになる場合と、ならない場合があります。動画を参照ください。

実際に、どういう打ち方が上記の打ち方なのか判らないという声があり、動画にて公開いたします。

以前のIPGAの指導では、キチンとアドレスが取れなくても、クラブヘッドで打つ限り、正規なインパクトであれば有効としていましたが、変更になっていますので間違わないようにしてください。

無理はしないという事と、自然物等の保護は最優先されるべきです。※動画を見る場合、画面をクリックしてください。

押し出し（植栽の下、ネット付近のボール）



引き出し（植栽等のボール）



かき寄せ（カップの周り、植栽下のボール）

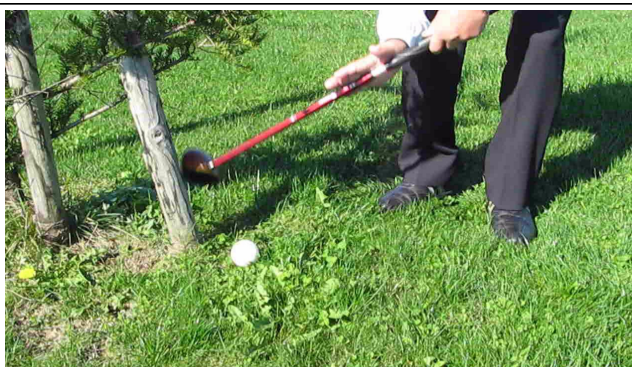


すくいあげ（バンカーに入ったボールを砂に押し付けすくいあげる）



※ 上の写真のボール位置なら、「押し出し」「引き出し」になりにくい状況で、もっと簡単な打ち方が出来ますが、  
どういう打ち方が「不正打ち」なのかを検証するためのものですのでご理解ください。

※動画を見る場合、画面をクリックしてください。



- ・クラブを上げてボールから離れて叩いたらセーフ
- ・ボールにクラブがくっついた状態のままシャフトを叩けばペナルティとなる

ビリヤード打ち(植栽に入った場合)

シャフトを叩く(障害物に近いボール)

## 二度打ち

こしなどは二度打ちしかあい。



二度打ちになりやすいのは、ラフからのアプローチの時が一番多いと思われます。  
二度打ちをしたかどうかは、本人が一番判るはずですが、同伴者から指摘されてから、不正打ちを認める前に、進んで自分から申告しましょう。(人には優しく、自分に厳しく) 2打を付加して止まった位置からプレイを続行します。